

網野銚子山古墳(京丹後市)

網野銚子山古墳は前方の小高い丘陵上に所在する



これが網野銚子山古墳/前方後円墳/4世紀末～5世紀初頭の築造/右手前が前方部、左奥が後円部 [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



くびれ部を見たところ/発掘調査中のテントとブルーシートが見える/左手が後円部、右手が前方部



左手の後円部を見たところ



右手の前方部を見たところ



説明板/日本海側及び京都府では最大規模の古墳と云う

国指定史跡

網野ふるさと自慢百選

28. 銚子山古墳と陪塚

網野銚子山古墳は全長198m、後円部径115m、同高16m、前方部幅80m、同高10mを測る日本海側最大の前方後円墳です。墳丘は三段に築かれ、それぞれの斜面には葺石が葺かれていました。また各段のテラス上には、丹後地域に特有の円筒埴輪（「丹後型円筒埴輪」）の列がめぐってました。前後には小銚子古墳と寛平法皇陵古墳の2基の陪塚を従えています。4世紀末～5世紀初頭に丹後地域を治めた有力者が葬られた、雄大で整美な古墳です。



明治31年5月22日撮影:網野銚子山古墳

京丹後市教育委員会

ここから前方部に登ってみよう



前方部墳頂から後円部方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



少し進んで、くびれ部と後円部方向を見たところ/発掘調査後か、墳頂が細かい砂のようなもので平らに均されてしまっている



くびれ部から後円部方向を見たところ



この先が後円部



ここが後円部墳頂/標柱が立っている



「史蹟 銚子山古墳」とある



後円部から先の墳丘斜面を見たところ/下は周溝跡のようだ



振り返って墳頂を見たところ/いやはや、だだっ広い



墳頂からは日本海が見えるが、古代にはこの下までが潟湖であったと見られ、潟湖往来の舟からは網野銚子山古墳がよく見えたものと思われる/潟湖からは葺石で覆われた墳丘の横面を見せる形式をとっており、当時の丹後地方がこれら潟湖を港として日本海交易を展開していたことが想像される/古墳の下に広がる平地は、古代においては砂洲で囲まれた潟となっており、良い港であったことであろう/パノラマで見たところ [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さて、これは後円部からくびれ部方向を見下ろしたところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ/発掘調査中だ！

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



こういう地道な調査と記録が大きな発見の成果を生むんだね！



<https://www.sankei.com/region/news/190905/rgn1909050030-n1.html>

くびれ部と前方部方向を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



くびれ部から前方部を見たところ/前方部の墳丘はあまり高くなく、前方部が発達していない古式の様子が見て取れる



さて、これは先程の周溝跡から後円部の墳丘を見たところ/墳丘周囲には東・南・西側の三方に周濠が巡らされていたらしい/
周溝跡は平らな状態に整備されている



そこで右手の周溝跡を見たところ/前方で周溝跡は終わってしまっている [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



左手に周溝跡を進む



こちら周溝跡はくびれ部の手前辺りで終わってしまっている



振り返って見たところ/こちら側は墳丘の南側で、発掘調査から幅17~25mの周溝が巡っていたことが確認されていると云う



それでは後円部の墳丘を登ってみよう



途中左手を見ると平坦な部分がある/ここからが二段目だ



更に墳丘を登る



すると、また左手を見ると平坦な部分がある/ここからが三段目だ/つまり、三段築成であることが見て取れる



墳丘斜面にはこんな葺石の名残と思われる状況があった



さて、前方の木々の辺りは前方部側に所在する陪塚の寛平法皇陵古墳跡



前方部墳丘下から見たところ/手前に説明板がある



63.しわ榎

しわ榎は、網野銚子山古墳と寛平法皇陵古墳の間にある榎の大木です。

竜宮から帰った浦島子(浦島太郎)は、この場所で玉くしげ(玉手箱)を開けました。この時、顔がしわだらけになってしまった浦島子は、悲しみのあまり、しわをちぎって投げつけたため、榎の樹皮がしわで凹凸になったと伝えられています。



平成16年5月撮影:かつてのしわ榎

こちらにも説明板などが立っている/正面中央の大木が、その「しわ榎」のようだ/右手前方が前方部に登った階段



しわ榎二世の育成

浦島伝説で有名な「しわ榎」は、永い年月による高齢化と度々の台風によって幹は空洞化し、大枝も折れ無残な姿になりました。

そこで、網野郷土文化保存会が中心となり、行政の支援と樹木医の指導を仰ぎながら、近くの網野南小学校五年生の課外授業として、播種から苗の世話そして、ここに定植する体験学習として取り組みました。

関係者が多く集まり植樹祭を執り行い、榎二世の育成を祈念し、今後も苗木の成長を見守る決意を固めたところです。

平成十九年三月

網野町郷土文化保存会

皺 榎

この樹には浦島太郎についての民話
の民話が伝承されたる

こゝは水の江の住人浦島太郎の
故郷の地で太郎の館跡なりとの説

がある 太郎が龍宮より帰へりて
玉手箱を開くに忽ち老翁となる

驚愕せる太郎は木の顔の皺を究り
取つてこの樹に投げつけたりと

依つて今日猶この榎はその樹皮
に醜き皺をなすなりと云ふ

昭和五十一年六月

宝聚山本眞寺茅廿七寺

権大僧正 石原照山

代美壽会誌

その背後の低いマウンドの上に小社があった/この奥は墓地になっていた



こちらにも小社があった/このエリアに寛平法皇陵古墳があったのであろうか [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



日本海沿岸に於ける古墳時代前期の古墳の大きさを見ると、網野銚子山古墳が突出して大きいことが見て取れる/赤丸が網野銚子山古墳/丹後地方では、弥生時代後期から古墳時代前半に、大きな勢力をもった政治勢力があった可能性(いわゆる「丹後王国」)が指摘されている/埋葬施設は未調査だが、この古墳に葬られている人物は、少なくともヤマト王権と関係を持ち、大陸との交易等にも携わったこの地方の有力者であったと考えられると云う

2 日本海沿岸における古墳時代の幕開け



日本海沿岸と畿内・瀬戸内の主な前期古墳 (高橋作成)

参考ホームページ

<https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/kyoikuiinkai/bunkazaihogo/3/1/2/3301.html>

<https://mainichi.jp/articles/20190905/dtl/k26/040/336000c>

<https://mainichi.jp/articles/20171123/dtl/k26/040/473000c>

<https://www.kyototsuu.jp/Sightseeing/HistorySpotAminoCyoushiyamaKofun.html>

https://uminohakata.at.webry.info/201711/article_8.html

<http://obito1.web.fc2.com/tangoamino.html>

http://inoues.net/tango/chosiyama_kofun.html

